

教えて

パイセン!

サキホコレ学園による
秋田暮らしインタビュー

仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!

ヤマモ味噌醤油醸造元高茂合名会社

今回サキホコレ学園Cチームが訪れたのは、ヤマモ味噌醤油醸造元。エッジの効いたホームページを見たときから、かなり気になっていた蔵元です。ここで働く先輩はどんな仕事をして、どんなライフスタイルを送っているのでしょうか。話を聞くため、歴史を感じさせる建物へ突撃します!

今回のパイセン



細川さん

Cチーム

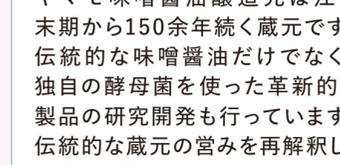
本日はよろしくお願いします!

澤口さん

社会変革事業部の澤口です。こちらこそよろしくお願いします。

細川さん

社会変革事業部広報・開発の細川です。よろしくお願いします。



Cチーム

はじめに、ヤマモ味噌醤油醸造元のことを教えてください。

澤口さん

ヤマモ味噌醤油醸造元は江戸末期から150余年続く蔵元です。伝統的な味噌醤油だけでなく、独自の酵母菌を使った革新的な製品の研究開発も行っています。伝統的な蔵元の営みを再解釈し、庭園やギャラリーなどを整備、また伝統産業にアートを取り入れながら、その世界観をファクトリーツアーやレストランなど様々な形で伝える取り組みをしています。



Cチーム

伝統的なヤマモの味にはどんな特徴がありますか?

澤口さん

味噌は甘めで日本酒のような風味があります。醤油はいくつか種類があって、甘めの醤油、しょっぱめの醤油、お刺身に合う醤油などがあります。

Cチーム

いろいろな媒体でヤマモの記事を目にしますが、広報活動に力を入れているのですか?



澤口さん

広報もやらなければならないと思っているのですが手が回らず……。今はインフルエンサーが広めてくれるケースが多いですね。

Cチーム

カフェもやっているんですね。

澤口さん

はい。カフェのテーマはクリエイティブな人同士がつながる場所。感性を刺激する空間でクリエイティブな人が相互に影響を受け、アイデアが生まれる場になればいいと考えました。ヤマモの味噌や醤油の味に親しみを感じてくれている地元の人も訪れますし、蔵や庭を見学するため海外から訪れる人もいます。カフェは蔵元により多様な方々が訪れるための新たな試みのひとつということです。



Cチーム

たしかにこの空間で考え事をしたら、いいアイデアが浮かびそうです。ところで、少し前にレストランに業態変更したと聞きました。どういう経緯があったのでしょうか。

澤口さん

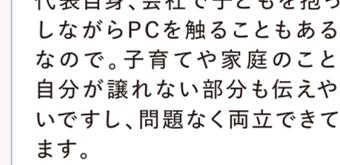
まず、七代目が10年以上の実験の末に新たな酵母菌を見つけたこと。宇宙で新たな惑星を見つけるくらいの可能性だと言われる新たな菌の発見の価値を、何かサービスにしていきたいと考えていました。そのときに、コロナの影響で働く予定だった日本の職場を失い、働き口を探していたドイツ人シェフとの出会いがありました。そこで二つの点につながり、短い期間で料理のクオリティを上げることができました。

Cチーム

細川さんは、ここでどんなお仕事をされているのですか?

細川さん

事務の仕事と開発の仕事、両方に携わっています。先ほど澤口が話していた菌は、当蔵の味噌の中から見つかったもの。それが調味料だけでなく、肉魚や酒にも応用できることが分かったので、今はこの菌の効能を生かしたレストランメニューの開発に力を注いでいます。



Cチーム

発酵や菌について以前どこかで学んでいたのですか?

細川さん

いいえ。開発を始めたのはここに入ってからです。毎日手探り状態ですが、自分にとって未知の領域に踏み込んでいくのはとても楽しいです。

Cチーム

入社前と入社後で職場の印象はどのように変わりましたか?

細川さん

やらなきゃいけないことが思った以上にあるなと思いました(笑)たとえば菌が見つかってでもそれで終わりではなく、会社にはそこからどう発展させていくかを考えることが求められます。菌をきっかけに、レストランのオープンをやりきる会社ですから。正直、大変なことの方が多いですけど、やりがいがあります。

Cチーム

職場の雰囲気はhowですか?

細川さん

ここで働く人はみんな個性的ですが、人間関係でストレスを感じることはないです。男性だから女性だからと妙な線引きがされていない職場だからかもしれません。

Cチーム

仕事と家庭の両立はできていますか?

細川さん

代表自身、会社で子どもを抱っこしながらPCを触ることもある人なので。子育てや家庭のことで自分が譲れない部分も伝えやすいですし、問題なく両立できています。



伝統的な事業をただ続けるのではなく、進化、発展を見据えて実際に行動しているヤマモ味噌醤油醸造元の皆さん、かっこよすぎます!男だから女だからと線引きをしない職場も、未来のスタンダードを先取りした形なのかもと思いました!